

平成24年5月16日

日食観察用グラスの使用に当たっての注意喚起

5月21日月曜日は、日本全国で部分日食が、太平洋側の広い地域で金環日食が見られる可能性があります。

日食観察のため、さまざまな観察グラスがありますが、不適切な製品を用いると、目を傷める危険があります。時には重症化や、視力低下にいたることもあります。

日食観察グラスを使う際は、下記を参考に、品質や性能を確認した上で、正しく使用してください。

◎こんな日食観察用グラスは危険です

- ・ 室内の蛍光灯を見て、一見して明るく、形がはっきりと見える製品
可視光線を十分に減光している製品の多くは、かすかに蛍光灯を確認できる程度の見え方です。
- ・ 可視光線や赤外線透過率が高い製品
安全性の検討材料となる数値として、可視光線で0.003%以下、赤外線で3%以下という目安があります。（あくまで目安）
- ・ LEDライトなどの強い光にかざした時に、ひび割れや穴が確認できるもの

(2012年金環日食日本委員会ホームページ・日食観察グラス「明らかに危険な製品の見分け方」(<http://www.solar2012.jp/>)より。)

消費者庁と独立行政法人国民生活センターは、日食観察に不適切な製品が流通していないか、確認を行っています。結果については、判明次第お知らせします。

本件に関する問合せ先

消費者庁消費者安全課 金児、小林、渡邊

TEL : 03(3507)9146 (直通)

HP : <http://www.caa.go.jp/>